

令和5年度 ひょうご農商工連携ファンド採択事業者実績一覧 【5件】

	事業名	連携体構成員名 (◎は代表者)	事業内容
1	太陽光発電システムを用いたポンプ場電力自家消費	但馬米穀株式会社 (豊岡市) ◎国府平野土地改良区 (豊岡市)	但馬米穀(株)と国府平野土地改良区が連携し、豊岡市の農業事業モデルの一環である「農業+再生可能エネルギー」について、営農型太陽光発電を行うことにより電気の自給自足・産地消をめざす。
2	“ジャンボピーマン”の水耕栽培による周年栽培と産地化を目指す取り組み	株式会社プレスト (神戸市) ◎株式会社いけうち (西脇市)	加工用野菜の卸売りをを行う(株)プレストと、独自の栽培技術を持つ(株)いけうちが連携し、ジャンボピーマンの水耕栽培を水耕栽培に切り替えることにより、周年栽培を行い、物流コスト削減と品質の均一化・産地化を目指す。
3	特殊冷凍技術と最適乾燥をシミュレーションさせた革新的な有機野菜の長期保存サービスの展開	ハーツフードクリエーツ株式会社 (神戸市) ◎笠形地域づくり協議会 (神崎郡)	飲食業のハーツフードクリエーツ(株)と、有機栽培に取り組む笠形地域づくり協議会が連携し、有機野菜の出荷ロス減らして有効成分や品質を落とさずに長期貯蔵する方法を確立する。
4	淡路島のシンボル「タマネギ」を使ったフルーツサンドの開発	株式会社AWJ (洲本市) ◎淡路島希望食品有限会社 (南あわじ市)	淡路島のサッカークラブ(株)AWJと、土づくりに実績のある淡路島希望食品(有)が連携し、淡路島のシンボルであるタマネギを利用したフルーツサンドを通じて「淡路島の魅力」を再確認し、地域の活力を感じる機会を創出する。
5	淡路いちじくを活用したフルーツ缶詰の開発	合同会社Go-River (洲本市) ◎生田ファーム (洲本市)	淡路島内の業者やレストランと協力して缶詰を製作している(合)Go-Riverと、いちじくを生産する生田ファームが連携。いちじくを缶詰に加工することで保存期間が長くなり一年中味わえるようになることで、淡路島のいちじくのブランド化・イメージ向上に寄与する。